



通信

HP 学校だより
R5.10.25
NO.25
文責 伊藤美佳



収穫の秋

今年の夏は猛暑、猛暑で作物がちゃんと育つか心配でした。しかし、地域のナスおじさんやお米の先生に見守られ、教えてもらいながら、ナスや米の収穫を迎えることができました。また、1年生が育てているサツマイモは、地域の方から苗をいただき、暑い夏を乗り越え、葉が繁茂して通路を占拠する勢いです。

6年生と3年生が育てていたナスは、9月に給食センターへ搬入しました。7月ほど収穫できませんでしたが、今年の夏を乗り切ったナスの強さに驚きを隠せません。そして、今、台木（強いナスの根を使って、上においしいナスの木を育てている）にしていたナスが伸びて、白い花を咲かせています。強いナスだと聞いていましたが、本当でした。ぜひ、3年生の鉢植えのナス（ビオトープ内）を見てほしいです。おいしいナスは紫色の花でしたが、このナスの花は白色です。この違いにもびっくりでした。

5年生が育てた稲は、24日（火）に脱穀、粃摺りを行いました。田起し、代掻き、田植え…稲刈り、脱穀、粃摺りを学校内で体験できる豊坂小学校は恵まれています。ビオトープを作り、棚田を作ってくださった皆さんに感謝の思いを伝えたいです。この日は、地域のお米の先生方がたくさん来てくださり、昔の道具の千歯扱（せんばこき）や唐箕（とうみ）、少し前の道具のハーベスターや粃摺り機を使って、稲作の最終段階

「米にする」までを体験しました。古い道具ですが、大切に使っているので、今も現役です。昔の道具を使うことで、米作りの大変さや米の大切さを学ぶとともに、ものを大切に使うことの意義も知ることができたと思います。大切なことを教えてくださったお米の先生方に、子どもたちが感謝の気持ちを伝えていました。稲作を通して、人を育てていただき本当にうれしいです。自分たちで育て、収穫したお米は何キロになるかわくわくしながら量ったことは、大切な思い出となることでしょう。

1年生は脱穀と同じ日に芋ほりをしました。大きな芋がいくつもできていて満面の笑みでポーズしてくれる1年生。見ていてほっこりします。たくさん収穫できたサツマイモは、甘みを増すために図書室前でしばし休憩です。

収穫の喜びを感じられた子どもたちは、おいしくいただくときに更なる喜びを感じることでしょう。

